

【イベント名】

令和6年度いきいきキャリアスタート事業 石巻専修大学

【開催概要】

開催日

令和6年10月18日（金） 9:40～11:10

時間

場所

石巻専修大学
(4号館 4101)

参加人数

2年生 28名

主催 宮城県 共催 石巻専修大学

プログラム

- 09:40～ 挨拶 (5分)
学校法人専修大学石巻専修大学
経営学部 准教授 稲葉 健太郎氏
- 09:45～ 第一部「男女共同参画基礎講座」(20分)
宮城県環境生活部 共同参画社会推進課
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄
- 10:05～ 第二部「講演並びにワークショップ」(60分)
株式会社Pallet コーチ
(一社) 蔵王ひとまち共創機構 代表理事
清水 大督 (しみずだいすけ) 氏
- 11:05～ Webアンケート入力 (5分)
11:10 終了

第一部「男女共同参画基礎講座」

宮城県環境生活部 共同参画社会推進課
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄

「これから社会人になる皆さんへ」と題し、1.ワーク・ライフ・バランス、2.日本の現状、3.多様な人材が活躍できる環境を作る、の3つを伝えました。併せて「自分らしく働き続けるためのワーク・ライフ・バランスとは(A4リーフレット)」を配布し、アンコンシャス・バイアスに触れつつ、身近な例を挙げながら説明を行いました。



第二部「講演並びにワークショップ」

株式会社Pallet コーチ

一般社団法人蔵王ひとまち共創機構 代表理事 清水 大督 氏

清水さんは、大学卒業後国家公務員として文科省に就職し、その後地元である仙台市に戻り仙台市役所職員として働いていましたが、自分がやりたいことを実現するために退職し個人事業主となりました。結婚後、事業が軌道にのるまで教師である妻が家計を支え、その間家事や育児を積極的に行った自身の経験をもとに、お互いの時間で出来ることを話し合い、相手を思いやり、また助け合う存在があったことが、実現できた要因ではないかと伝えました。

男女共同参画社会を生きるためのポイントとなる「どのような人生を送りたいか」を考える時に、「何をしたいか(What)」だけでなく、そのしたいことを「何故するか(Why)」を考えることがとても重要であり、何故自分はこれをやってみようか何回も繰り返して考えることで、自分の思いや大切にしたいことが明確に見えてくる、という話に学生たちの表情は真剣でした。

ワークショップでは、「ワーク」と「ライフ」に分けて、学生自身が将来「したいこと」「したくないこと」は具体的にどんなことなのか、その理由は何かを考えワークシートで整理しました。

また、データから「働きやすさ」と「働きがい」の関係性の中で、「仕事」については手段としてとらえている人が多い一方、「楽しく仕事をしたい」と考えている人も多いことを示したうえで、働く幸せが実感できることとはどんなことなのか「はたらく人の幸せの7因子」を提示し説明しました。

最後に、「何をしたいか(What)」は、知識やコミュニケーション力等「増やせる力」を身に付けることであり、「何故するか(Why)」を明確にすることで、WhatとWhyの掛け算を大切にしてほしいと学生に伝えました。



アンケート (抜粋)

【心に残ったキーワード】

- ◆アンコンシャス・バイアス・・・男が家を継ぐものという偏見に共感できたから。
- ◆何故するかをすり合わせる・・・1人だとはできないことでも協力することで可能性が広がるという考えがなるほどと思ったから。
- ◆はたらく目的・・・これまででは、働くことに対して給料を貰う手段程度にしか捉えていなかったなので、改めて見つめ直そうと思った。

【授業全体を通しての感想や意見】

- ◆レジュメや、話の内容ともに分かりやすく、日本社会の男女の状況を知ることが出来た。特に、働いているうえで、自分の生活をどのようにするのかといったことや、女性、男性での仕事や生活に関する現状が興味深かった。
- ◆周り意見交換する時間がもう少しあってよかった。